

# 第28回 市展 市長賞

7月1日から5日まで、白根学習館で行われた第28回白根市美術展覧会。7部門267点の作品の中から、市長賞を受賞した4作品と受賞者を紹介します。

桂井 幸雄 先生  
生誕100周年記念  
白根市立美術館  
展覧会  
出品作品  
「丁仙芝詩」

## 書道

### 「丁仙芝詩」

鶴巻 起峰さん (戸頭)



書かれた詩は、秋の揚子江の光景を叙した。「詩の内容のように全体に明るく、さわやかな作品になったと思う」と話す鶴巻さん。「今後は、線の質を高められるように勉強していきたい。太く力強い線で、見る人になごやかな感じを与えるような、表現力のある作品に取り組んでいきたいですね」と意欲的です。

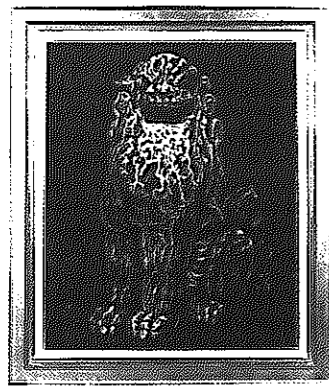
## 日本画

### 「こま犬」

伊藤 勉さん (曙町)



伊藤さんが日本画を始めたのは、6年前に市民文化講座で日本画を受講したのがきっかけ。現在は日本画サークル「萌黄会」に所属しています。「作品にかかった期間は約2カ月。背景の色がなかなか決まらず、苦勞しましたが、こま犬の力強さや情熱を感じられる表現ができました」と話してくれました。



## 洋画

### 「ヨロン島の農婦」

宮野 光子さん (黒崎町)



「昨年、与論島へ行き、穏やかな人と自然をスケッチしてきました。絵は「描きたい」という感動がないと描けないものですが、島の畑で出会ったおばあさんの無防備なおおらかな表情がとても心に残っていて、この絵を描くことができました」と話す宮野さん。昨年に続いて、2度目の市長賞を受賞されました。



## 写真

### 「風の祭り」

山田 久美子さん (仲登ノ木2)



作品は、昨年9月にフランスのマルセイユ市で行われた「風の祭り」の様子を撮影したものです。「役者組の風が揚がったときに、後ろ姿がとてもいい雰囲気だったので、撮りました」と山田さん。「これからも、楽しみながら写真を撮り続けていきたいです」と笑顔で話してくれました。



## 救助技術で全国大会へ

白根地域消防本部



七月四日、「第十七回新潟県消防救助技術大会」が新潟市で行われ、白根地域消防本部からは五種目に出場しました。

そのうち、上位入賞した団体種目の「ロープブリッジ救出野内友晴さん・桜井智則さん・五十嵐勤さん・吉沢透さん」が、七月十三日に新潟市で行われた「第二十九回東北地区支部消防救助技術指導会」に出場。ここでも上位入賞を果たし、八月十八日に熊本市で行われる全国大会へ出場することとなりました。指導を担当する小林悟救助分隊長は、「今のチームになってから、三回目の挑戦で全国大会への出場を手にすることができました。一生懸命やってきました結果が出て喜んで、ほかの隊員たちの励みにもなっていると思います。大会では十分力を出しきって頑張りたい」と話しています。

## 堤防の一斉清掃

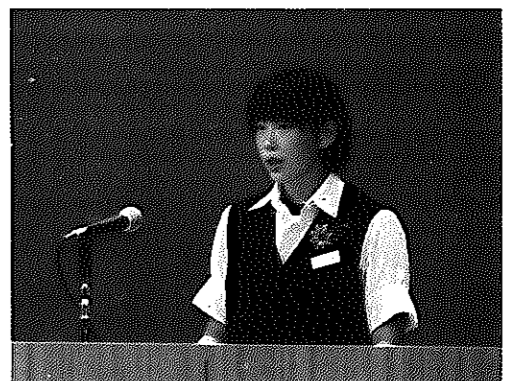
信濃川クリーン作戦



七月十六日に予定されていた「信濃川クリーン作戦」。下越集中豪雨のため全市での取り組みは中止となりましたが、七月十五日は新飯田地区で、十六日には鶴巻地区などで、予定どおりごみ拾いが行われました。新飯田地区では、ボランティアや各自治会からの代表など約三十人が参加。午前六時から、中ノ口川の堤防約十キロメートルのごみ拾いを開始しました。参加者は、集まった大量のごみに驚くとともに、「ポイ捨て」をしない心掛けの大切さについて話し合っていました。

## 十二人の中学生が、意見を堂々と発表

白根市青少年健全育成・社会を明るくする運動市民大会



七月十五日、白根学習館で「白根市青少年健全育成・社会を明るくする運動市民大会」が開催され、青年健全育成に関する顕彰者の表彰などが行われました。その後、「少年の主張大会・白根大会」が行われ、市内五つの中学校の代表十二人が、日ごろ考えている意見や、自ら体験したことを堂々と発表。最優秀賞に選ばれた遠藤友子さん(新飯田中三年)と田巻有香さん(庄瀬中三年)は、白根市代表として今年二十二日に行われる三市中浦原地区大会に出場します。

## 環境保全に配慮した農業へ

農業使用済プラスチック類の回収



七月十日と十一日、JA白根市各支所で、農業使用済プラスチック類の回収が行われました。これは、肥料袋やハウス用ビニールなどの野焼き・不法投棄の撲滅と環境に配慮した農業推進のため、「白根市農業使用済プラスチック等適正処理推進協議会」が昨年から行っているものです。今回集められたプラスチック類は、およそ五十九トン。前回の回収量をやや下回りました。なお、協議会では十一月月中旬に次回の回収を予定しています。